

旧広島市民球場跡地

創造 101 人委員会

結果報告



旧広島市民球場「跡地創造 101 人委員会」

広島市の「旧広島市民球場跡地委員会」を受けて

旧広島市民球場跡地問題を議論する「旧広島市民球場跡地委員会」は、公開の場で開催するという点では画期的な試みといえるものでした。しかし肝腎要の議論の中身については必ずしも有意義なものではありませんでした。

委員の選任方法、議事進行のあり方などなど、さまざまな問題をクリアできないまま中途半端な状態で終了となってしまいました。そもそも委員会の趣旨目的そのものが曖昧で、たぶんにセレモニー的なものになってしまったといわざるをえません。

はたして跡地委員会が民主的に行われたのか、情報提供は十分だったのか、結果に民意は反映されていたのか…。

私たちが実施した無作為抽出による市民 2000 人へのアンケート結果では、必ずしも評価は高いものではありませんでした。(資料編参照)

そこで私たち市民有志は、下記のような要領で跡地委員会では十分ではなかった議論を深めてみることにしました。跡地委員会でまとまった「緑地イベント広場機能」「文化芸術機能」「スポーツ複合型機能」。この3つの機能の内容を議論し、それぞれの内容を評価し、そして最終的に市民が望むものはどんな機能、施設なのかを選考することにしました。

広島市民や市出身者たち9人が30日、旧市民球場跡地の活用策を市民参加で考える「跡地創造101人委員会」を設けると発表した。委員を無作為抽出した2千人から募る試み。来年2月の会合で意見をまとめ、市に提案する予定という。

活用策は現在、市の跡地委員会(21人)で検討中。9人は「委員の多くは各種団体の代表者で、市民の多様な声が反映されない」と主張。呼び掛け人となって今回の委員会を企画した。

跡地活用 市民の声を

有志ら委員会設置へ

既に、各区の選挙人名簿を基に20〜80歳の2千人に詳細案内の申込書を郵送した。関心がある人が申し込む。定員は100人。超えた場合、抽選にする。会合は来年2月23、24日に県立産業会館(南区)で開き、グループ討議後、多数決で提案を一つに絞る。

呼び掛け人の共同代表、南山大の前田洋枝講師(社会心理学) 〓 西区出身 〓 が市役所で会見。「性別や世代、地域に偏りのない市民の総意で活用策をまとめたい」と話した。(山本乃輔)

中国新聞 2012.12.01

モデルはドイツの「プラーヌクスツェレ」

ドイツで町中心部の工場跡地の再開発をテーマに開催された「プラーヌクスツェレ」。これが「跡地創造 101 人委員会」のモデルとなりました。(巻末資料 1 の新聞記事参照)

無作為抽出の市民が参加し、多様な視点からの情報提供を受ける。そして 5 名程度の小グループでサブテーマごとにメンバーをシャッフルしながらの討議で市民の提案をまとめていくという方法で、市民の満足度や跡地計画策定プロセスへの評価も高いことが知られていました。

本来であれば行政が積極的に採り入れてしかるべき民意採択のシステム。それを今回、市民有志が中心となって実施することにしました。

旧広島市民球場跡地「創造 101 人委員会」の実施要項は下記のとおり

日時 2月23日(土) 午後1時から午後5時まで
会場 南区民文化センター(大会議室B)
人数 20名(無作為抽出および公募による不特定の広島市および周辺の市民)



内容

- ①跡地委員会が出された提案などについての情報提供
- ②各提案についての議論(独自の提案についても検討)
- ③各提案についての総合評価と最終案の決定

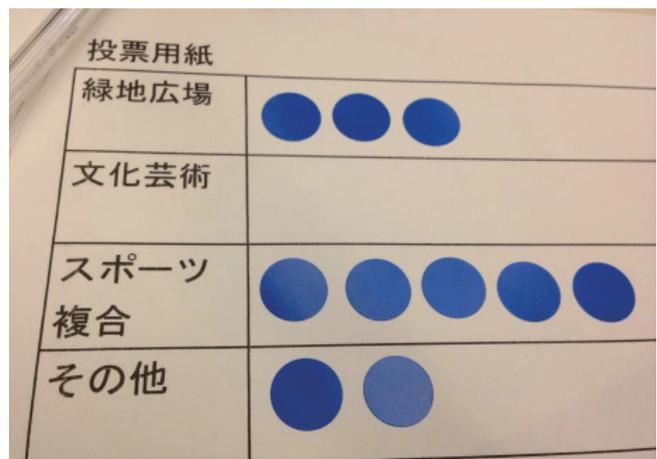
民意は「スポーツ複合型機能」

その結果は別紙のようなものになりました。

各機能の最終評価

各委員が10票を持って各機能に投票(15人×10票)

1位	スポーツ複合機能	93票
2位	その他	32票
3位	緑地イベント広場	19票
4位	文化・芸術機能	6票



不特定の市民が議論を重ねて評価をした結果、旧広島市民球場跡地には「スポーツ複合施設」を、というのが民意だったのです。

今回私たちが実施した委員会ばかりでなく、さまざまな議論の場で「跡地にはサッカースタジアムを」という意見(巻末資料2参照)が多数を占めています。

旧広島市民球場跡地は「スポーツ複合型機能」で活用すべき。これが「民意」なのです。

各機能に対する意見

●スポーツ複合機能●

【長所・評価できる点、こうすればもっと良くなるといった意見】（G体は重要とされたもの・以下同様）

- ◆複合施設で平和がアピールできるサッカー場を
- ◆アウェイで来る人にも交通の便もいいし、ホテルもあり、まず第一に平和公園のアピールになる。広島を知ってもらえるチャンスになる
- ◆サンフレッチェのためだけでなく、北朝鮮と韓国とか、イランとイスラエルとかコソボとかシリアとか、紛争当事国をよんで試合させて、夜一緒に飯をたべよう
- ◆スポーツ施設だけでなく、平和都市として国連などの国際機関が誘致できる複合施設が必要
- ◆お年寄りと子供がともにふれあい、運動、遊び、音楽などを楽しめる小型のスペースを充実させてほしい
- ◆小規模なホールやギャラリーなどできて気安く出入りできる
- ◆スポーツジム、サウナなども含む、年齢を問わず利用できる日帰り温泉的な施設を作れば？
- ◆複合収容施設に漫画（アニメ）、ライブラリー、劇場を
- ◆複合施設があるのが良い
- ◆高校生までの年代層を中心に、野球サッカーを中心にスポーツ強化の拠点として当地を活用する
- ◆全国レベルの力があるチームがある、活性化の基になる
- ◆サンフレッチェと広島カープ、バレーボール、ハンドボール。スポーツは広島心の古里である
- ◆付随イベントとして各種イベントを行い、集客を図る。プロサッカー試合が行なわれることが重要
- ◆全天候型にすることで用途が広がる
- ◆「にぎわい」を作り出すツールとして、サンフレッチェと云うプロは有効である
- ◆今のサンフレッチェの勢いがあれば、利益が潤えるのではないか？
- ◆複合型だから他のコンテンツにも利用できると思う。
- ◆プロスポーツは将来、野球からサッカーへ転換する。跡地はサッカー場しかない。現在、小・中・高・大含め、サッカーの人口は拡大している。広島をサッカーの聖地にしてほしい

- ◆一年間を通じて市民が参加できる場所をという考え方には同感。
- ◆国際平和組織、国際連合の一部、平和を創造する組織、大使館の出先機関を複合施設に入れる
- ◆野球場、サッカー場の交代、年間試合数。経営の自立
- ◆ビッグアーチは地の利が悪いので、広島のある中心が良い。周囲が老若男女が集まり賑やかになり活性化する
- ◆一度に2～3万人が集まれるには交通の便が最も重要。（ビッグアーチではだめ）
- ◆サッカー場が市内中心にあるのは、交通、試合前後の飲食にも便利なのでよい
- ◆交通の便がよいので、駐車場の設備があまりいらぬ。文化施設の箱物より維持費はかからないと思います。
- ◆サッカー場と娯楽施設（レストラン、ショッピングモール、アミューズメント etc）を同じ場所に作ればよい。
- ◆市内にサッカー場ができる意義は判る。今よりも集客は増える。
- ◆あの場所なら2万／試合は入ります。
- ◆交通アクセスが良い。公共の乗り物で行けるため、子供だけでもいいし、年配者でも行ける。交通費が安く行ける
- ◆広島には野球、サッカー、バレーなどスポーツチームがたくさんあるので、選手たちに練習しやすい環境となる。チームが勝つ⇒活性化につながる。
- ◆是非是非サッカー場が欲しい。
- ◆世界の動向はピッチの人工芝化。できたら（＝協会の方針変更で）人工芝で。スタンド屋根の上に①太陽光パネル、②小型風力で発電を
- ◆日本代表の試合ができる人数にする。
- ◆フィールドはサッカー専用にした方がよい。

- ◆ 付近の商業施設も潤う
- ◆ “事務所棟”には託児所(母さんは買い物食事?)
- ◆ 県の「スポーツ医療センター」を設置

【短所やこうしてはほしくない、といったもの】

- ◆ サッカーだけでは集客が少ない。
- ◆ 機能が多すぎる
- ◆ 日本代表等の国際試合ができない
- ◆ スペースが足りないのではないか
- ◆ 跡地だけでは手狭?
- ◆ 広島のかげがえのない場所だから他の場所ではできないものをおくべき。サッカーに特化することは反対
- ◆ 今あるサッカー場の回りを充実した方が予算的に楽!
- ◆ スポーツ複合型が「サッカー」+「別の機能」であるなら意味がない。特定の人しか使用することのない施設で良いとは思わない
- ◆ 「スポーツ複合」であるのならサッカー以外にも注力すべき
- ◆ サッカー場は観音の物を整備すればよいのでは
- ◆ 現有球場(ビッグアーチ)で十分。ビッグアーチの周りを活性化すればよいのでは?
- ◆ サッカーの試合時、騒音とか騒動とかがないか?
- ◆ サッカー場でなく、ドーム球場にして、マツダスタジアムをサッカー場に改装すれば良い。
- ◆ サッカーの集客で維持できるのか?税金投入なら無意味(年間試合数少ない)

【どちらともいえないもの】

- ◆ サッカーは市民共有の宝になりえるかギモン!
- ◆ 重要 スポーツ
- ◆ サッカー(スポーツ)+平和活動拠点施設としての機能集約した複合施設にすべき
- ◆ 総合スポーツ施設。ドイツをモデルにホテルも学校も。この案は複合施設に何を入れるかが説得力の分かれ目。単にサッカーファンが騒いどると見られると賛同が集まらない
- ◆ 国際平和文化都市なら!国連の紛争解決のプロフェッショナル機関を呼ぶ。災害対応NPOを集結させるとか、そういうものとの複合施設を
- ◆ 多くの市民が日常的に利用できることが大切
- ◆ できる限り汎用にすべき
- ◆ サッカー試合のない日 複合施設を何にするかでにぎわいが変わる。多くの人を楽しめる施設にするべき。
- ◆ スポーツも文化の一部という見方もあるのではないか。ビッグアーチ=サッカー場と思っている人が多い。広報活動が思う
- ◆ サッカーだけに焦点をしばっているのか?他のスポーツにも力を入れてくれると良いなと思う。
- ◆ スポーツ複合型ということで、ドーム型のスタジアムで色々なことのできる施設として明確にした方がよいのではないか?
- ◆ 世界にアピールするものにしてほしい
- ◆ 複合施設に何をすることで集客は大きく変わる
- ◆ 建設費はもう少し安くなるのでは?
- ◆ スタジアムをどこが運営するかで収益性が変わる
- ◆ ドーム型もしくは開閉自由型にすると、コンサート等にも利用できるのでは?
- ◆ 3.5万人入れたい。高さ制限なしにできないか[特工化は?]
- ◆ 稼働率 up のためには屋根付
- ◆ ZoomZoom でサッカーできるなら、ここは本来の野球場にもどすべき

●文化芸術機能●

【長所・評価できる点、こうすればもっと良くなるといった意見】

- ◆シドニーのオペラハウスのような、建物自体に魅力があれば…。
- ◆四季やシルクドソレイユ等常設できれば集客できる
- ◆ハード先行型からソフト先行型へという考えには賛成
- ◆ハードよりソフトから検討をはじめることと同感
- ◆イベントの運営力がある組織が見つけれれば…。
- ◆文化施設+平和発信の複合で考えた方がよい
- ◆文化だけでなく、平和を発信し世界から集まれる施設(複合)にしてほしい

- ◆小型のレンタルホール、レッスン場(一般にも開放)を充実させる
- ◆現在のホールは交通の便が悪い
- ◆交通アクセスという点ではよい
- ◆すぐそばにグリーンアリーナとスポーツ施設があるので、文化芸術機能のある施設の存在はバランスがよいと思う
- ◆市内には「ちゃんとした」文化施設が無いのよね
- ◆作るのなら超一流の「ハコ」を!

【短所や「こうしては欲しくない」、といったもの】

- ◆だれが来るのか分からない。コンテンツやソフトが考慮されていない。
- ◆134億かけてハコものはいらない!!
- ◆既に既存施設があり、意味不明。こういう案が出ること自体、検討委員会(旧広島市民球場跡地委員会)の審議レベルを疑う。
- ◆周辺に類似施設が多すぎる。この案の特色、狙いが判らない。
- ◆文化施設は都市規模に合わせて必要ない。
- ◆文化芸術施設はあそこでもなくても場所はある。2000人のホールがどれくらい必要か?他の現有のホールは止めにするのか?
- ◆延べ床面積17600m²。130億円 音楽ホール1900席は反対。
- ◆広島の規模からすると音楽ホール、ギャラリーなどはもう要らない!箱物の維持費が大変だと思う。集客ができるだろうか。
- ◆文化・芸術だけでは、にぎわいとか集客力でイマイチ。
- ◆文化ホールは作ったら維持費がかかりすぎる(税金のムダ)
- ◆広島にはこれ以上ホールはいらぬのでは
- ◆広島市民オーケストラが盛りたてられないという地域性がある中、また、グリーンアリーナがBigコンサートの会場としては近くにあることもあり、コンサート会場の必要性は感じられない。
- ◆収容人数が中途半端で使いにくい(対象が決まっている)
- ◆誰に向けてのコンテンツにするのか、良く分からない。若者向けなのか、年寄り向けなのか、そんなににぎやかになるとは思えない
- ◆新しくホールを作らなくても、今あるホールでも事足りる。
- ◆音楽ホールは市内中心部近くにある(グリーンアリーナなど)ので新しく作る必要はない
- ◆広島のここにしかないものを置いたほうがよい。広島市にはコンサートホールがたくさんあるので、それ以外の施設を作った方がよいと思う。ドームにした方がよい。
- ◆文化施設はかなりあるのではないか。代替ではグリーンアリーナもある。質疑応答でも出たが、文化芸術施設とスポーツ施設の複合ということもあるのでは。

- ◆文化面の施設は他にもたくさんあり、それぞれが維持費用に苦しんでいる。他のホールの稼働率が落ちる。
- ◆ハード案としか思えない。前時代的ハコ物。これまでの長い長い検討を踏まえているとは思えない。根拠を理解できない。
- ◆賑わいの観点からすると人員の動員は限定的であり、それに伴う経済効果は乏しいのではないのでしょうか
- ◆広島には音楽以外の特徴のある芸術がないように思う。
- ◆数字の算定があいまい。人が集まるイベントはそうはない。
- ◆「集客」「にぎわい」の可能性としてどーなのか。音楽ホールは他にもいくつかある。
- ◆まるっきり「ハード先行」ではないか

【どちらともいえないもの】

- ◆1年中を通して望まれるイベントが行われるなら、にぎわいが作られるが、行なわれなかった場合は閑散とした箱物だけの場所になってしまう。
- ◆確信を持って選択できないときは決めない
- ◆Paris のオルセー美術館は以前はメトロの駅。中身が充実しているため、集客力はルーブルに告ぐ能力 (能力・中身) を持つ。
- ◆広島交響楽団を育てる文化があるのか。ハードを作っても中身 (ソフト) がなければ無意味 (意識)。楽団員はアルバイトをしていると聞く。
- ◆平和都市をアピールできる文化施設はあるべきです
- ◆例えホールを作ったところで何年も保てるほど、広島に体力はあるのか？
- ◆立地条件が良い

●緑地イベント機能●

【長所・評価できる点、こうすればもっと良くなるといった意見】

- ◆周辺の建物、施設に対して再整備を誘発することが大切。NTT、バスセンター、療養所
- ◆今のドーム周辺、平和公園に憩うスペースがないことへの対応という意味なら判る。が、ここでないといかんわけでもない。
- ◆被爆証言を聞く場所にしてほしい。
- ◆イベントやコンサートで使うには屋根が必要。
- ◆被爆から立ち上がった市民のエネルギーを呼びもどすシカケ

【短所やこうしてはほしくない、といったもの】

- ◆緑地広場にすると夜など治安が悪くなりそうな気がする
- ◆「にぎわい」面でギモン
- ◆緑地は平和公園や中央公園があるので、新しく作る必要はない。余程目玉になるものがないと閑散としてしまう。(最初のうちだけは多く集まるかもしれないが)
- ◆すでに平和公園があるので、公園の様な場は必要ない！！
- ◆緑地だけでは雨や雪のときに使えない
- ◆集客できるイベントはそんなにない
- ◆もったいない！
- ◆夜の治安が不安
- ◆緑地にしたらもったいない。何かに使えるはずなのに緑地にするのは反対

- ◆敷地がもったいない
- ◆フェスタとかで出店で混雑するとイメージダウン。かといって平和公園内のように規制でがんじがらめにしても無意味
- ◆ただ緑地だけではもったいない
- ◆緑地公園はすぐ近くに中央公園があり必要感しない
- ◆イベント広場にしても制限が多くなりそうで活性化どころか盛り下がるかもしれない
- ◆治安が悪くなりそう
- ◆誰が行くのか分からない
- ◆人が本当に集まるか、活性化につながる要素が薄いように思う
- ◆経済効果はなさそう
- ◆緑地だけでは集客ができない
- ◆緑地広場は他にもたくさんある(中央公園、河川敷公園 etc)
- ◆緑地広場機能では内容がイメージできない。当面のごまかしはダメ。広島を持っている特性を表現していない。

【どちらともいえないもの】

- ◆市の中心部に公園ばかり作ってどうなん？
- ◆市民の意見が反映されず成案が得にくい時に一時的に公園化することはやむをえない処置

●その他のアイデアなど●

【長所・評価できる点、こうすればもっと良くなるといった意見】

- ◆カーブを戻す
- ◆3つとも全部少しずつガマンして実現する
- ◆1つに20～30人乗れる大きいロンドンのみみたいな観覧車。周辺には飲食店など
- ◆跡地はもちろん商工会議所・PL、アリーナ、図書館などを全て解体し、一面を芝生にする
- ◆高齢社会に対応する“何か”を作る
- ◆「スポーツ複合」にグローバル化の視点から特に東・東南アジアの民俗芸能、食文化を通じて交流を図ることも重要。各国から人をまねき、交流を重ね、相互の理解を深め、世界平和につなげる

【赤：短所やこうしてはほしくない、といったもの】

なし

【どちらともいえないもの】

- ◆施設(?)を作り、屋根を張って発電したらどうですか
- ◆緑地広場内に青少年文化センターを立て替えてください。中央図書館も
- ◆平和活動の拠点となる施設
- ◆国際平和年としての発信と説く連などの平和機関が集まる複合施設を建てた方が人が集まる
- ◆子供が安全に遊べる場所として使える「みんなで子供を育て、守る場所としての機能があると良い
- ◆しぼれないときはしぼらない

(第三種郵便物認可)

今を読む

昨年、旧広島市民球場の解体完了と広島西飛行場の廃港決定という、その跡地利用が広島市の将来を左右する重要な出来事があった。旧広島市民球場跡地は、2009年公表の跡地計画の策定経緯・計画内容には見直しを求めて2万人を超える署名が提出され、10年の解体工事開始に対しては是非を問う住民投票が請求されるなど、批判は大きい。昨年、松井一実市長が跡地計画を白紙とした時点で解体工事は止め、跡地利用計画の再検討結果を待つべきだった。市民意見の募集や検討委員会等での検討はされている。しかし、意見の募集は意見の単なる「寄せ集め」だ。応募した人が他の意見を考慮し、検討を深める機会ほとんどない。昨年12月の第2回旧広島市民球場跡地委員会を傍聴したが、委員の方々の発言は各自の主張の言いっぱなしが多く、熟議には程遠かった。一言で言えば、決定の影響を受け

討議デモクラシーの可能性



南山大総合政策学部 専任講師

前田 洋枝

06年名古屋大学大学院環境学研究所博士後期課程単位

取得退学。09年博士(心理学)。11年から現職。市民討議会などの実践研究により参加プロセスの評価や政策への市民参加を促す心理要因を研究。広島市出身。

広島市の未来 市民が熟議を

参加者が熟議する「討議」が重要との考え方が「討議デモクラシー」だ。この思想に基づき、多様な立場からの情報提供の上で参加者同士の議論を深めて提案をまとめる市民参加の方法が欧米で開発・実践されてきた。

その中に、跡地利用を通して市中

市民の議論の成果と専門家の知恵

る人々や代表者がその決定のプロセスに参加する「民主主義」において、心部のにきわむるを目指す広島市が、ぜひ手本とすべき事例がある。ドイツの協働の例を一つ挙げよう。討議結果をまとめた「市民答申」案のままでは、市民ホールの屋外フル活用は市の財政面で困難だった。そこで、「市民答申」での別の建物への提案を市民ホールに組み込むという解決策を建築家が提案し、実現したのだ。市民ホールは州の建築費を受賞するなど高い評価を受けた。多くの市民

が市民財団に出資して市民ホールの運営に参加するなど市民の満足度も高い。

が行われた。無作為抽出で多くの参加者を得るため、年齢・性別などの分布は市民全体をほぼ反映した多様な人々が参加する。政策立案という責任ある仕事への対価という考えから、有償での参加も特徴である。

係者から情報提供を受ける。賛否のある内容は必ず両方の立場から情報が提供される。その後、コマごとにメンバーを変え5人程度の小グループに分かれ、参加者のみで討議する。参加者は多様な情報や他者の意見を考慮して討議できるよつになる。

ツのレンゲリッヒ市で、工場跡地の再開発のガイドラインをフライング・クックツェレ(PZ)という方法で市民が検討した事例だ。市中心部の工場が30年放置され、跡地は「誰が見てもひどい状態」だったが、残すべきだったとされた建物は改築されて市民ホールに生まれ変わり、周辺も整備された。

参加者は住民台帳から無作為抽出される。一つのPZは原則25人の市民で構成され、必ず複数開催される。レンゲリッヒ市の事例は六つのPZ

各コマでは、まず専門家や利害関係者から情報提供を受ける。賛否のある内容は必ず両方の立場から情報が提供される。その後、コマごとにメンバーを変え5人程度の小グループに分かれ、参加者のみで討議する。参加者は多様な情報や他者の意見を考慮して討議できるよつになる。

筆者を含む研究者グループはレンゲリッヒ市を含む国内外の市民参加による計画作りへの評価を調査した。その結果、政策内容と市民参加手続きの評価は共に、政策を市民が受け入れるか否かを左右した。

今からでも遅くない。市中心部の跡地利用は、広島市の未来に関わる重要な課題だ。熟議のプロセスで専門家と市民の叢智を結集し、内容も手続さも市民が納得できるものにする。市民にも市民にも広島をより良いまちにしたいと願う人々はい

(第三種郵便物認可)

広島市内に点在する大規模な未利用地の活用策を考える学生たち



未利用地活用 若者が議論

例えば旧市民球場跡→サッカー場

広島5カ所 市に提案へ

中区
フォーラム

広島市内にある大規模な未利用地の使用方を若者の視点で考える「広島未活性フォーラム」が19日、中区の広島国際学院大袋町キャンパスであった。旧市民球場跡地(中区)への複合型サッカースタジアムの整備など、未利用地5カ所の活用策をまとめた。近く市と市議会に提案する。(胡子洋)

市内の学生を中心に「生サークル」の協力を得てくる市民団体スポーツで事前に検討した活用ツロコミュニティ広島の策を発表。参加者約30名。メンバーが、学人がそれらの案を基に

中国新聞 2013.01.20

議論を深めた。旧市民球場跡地は、サッカースタジアムに食や伝統芸能の体験施設、観光案内所などを併設する内容。県営広島西飛行場跡地(西区)は、遊園地や温泉宿泊施設などの複合型リゾート施設整備が有効とした。

広島大本部跡地(中区)は複数の大学でつくる連合組織による利用を挙げ、「再び学生が集うまちづくりが必用」と強調。二葉の里地区(東区)は団塊の世代と若者が交流でき、将紀さん(24)は「未利用地の活用をめぐる注目が高まっている。観光客や住民目録で検討した」と話していた。

中国新聞 2013.02.24

球場跡「スポーツ複合型」に

市民意見交換

旧広島市民球場跡地(中区)の活用策を市民参加で考える会が23日、南区民文化センターであった。市の跡地委員会がまとめた最終報告書に盛り込まれた跡地にふさわしい機能は、緑地広場▽文化芸術▽スポーツ複合型▽の3分野。参加者20人は4グループに分かれ、意見を交わした。

最終報告書に盛り込まれた跡地にふさわしい機能は、緑地広場▽文化芸術▽スポーツ複合型▽の3分野。参加者20人は4グループに分かれ、意見を交わした。市民意見交換などの指摘があった。参加者は多数決でスポーツ複合型に絞った。跡地活用に関わり、市民の声を生かそうと、廿日市市の会社員徳富たけし(60)は「市民にとって大事な場所。町内会単位の意見も反映してほしい」と話していた。(加納亜弥)

館祭 029718234
会葬 ヲワベルホール

最終報告書にある「スポーツ複合型」の支持を決めた。松井一実市長が活用策を決める3月末までに、市と市議会に報告する。

中継観戦や紅白戦



芝生グラウンドで紅白戦を楽しむ参加者